

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-イ	災害に強い県土づくりと防災体制の強化	施策	③ 生活基盤等の防災・減災対策
			施策の小項目名	○水道施設の耐震化対策
主な取組	水道施設整備事業			
対応する主な課題	⑩島嶼県である本県において上水道施設が地震等により被災した場合、他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたる断水の発生が予測されることから、老朽化施設の計画的な更新、耐震化を進めていく必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元	R2	R3
地震等の被災時においても水道水を安定的に供給するため、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化（耐震管の導入等）を実施し、防災・減災対策に取り組む。		21% 基幹管路の耐震化率			→	31%
実施主体	市町村					
担当部課【連絡先】	保健医療部衛生薬務課 【098-866-2055】					
		水道施設（市町村管理）の更新・耐震化				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

予算事業名	水道施設整備費補助事業						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
各省計上	補助	5,052,066	6,365,023	4,775,951	4,263,354	5,668,571	6,637,536	各省計上	OR2年度： 地震等の被災時においても水道水を安定的に供給するため、老朽化した水道施設の更新、耐震化等を実施した。 OR3年度： 那覇市等28事業体で管路の更新・耐震化等の整備を実施する。
予算事業名	—						R3年度		令和2年度活動内容と令和3年度活動計画
主な財源	実施方法	H28年度決算額	H29年度決算額	H30年度決算額	R元年度決算額	R2年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
		—	—	—	—	—	—		OR2年度： — OR3年度： —

様式1(主な取組)

活動指標名	基幹管路の耐震化率				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
	15.5% (H27年度)	15.4% (H28年度)	17.2% (H29年度)	18.5% (H30年度)	22.3% (R1年度)	28.4%	78.5%	5,668,571	概ね順調	那覇市等30事業体で老朽化した水道施設の更新・耐震化等の整備を実施した。また県は30事業体へ老朽化施設の計画的な更新、耐震化等への取組等について指導・助言を行った。		
活動指標名	—				R2年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	—	—	—	—	—	—	—					
	—	—	—	—	—	—	—	5,668,571	概ね順調	令和2年度の基幹管路の耐震化率は集計中であるため、令和2年度計画値と令和元年度実績値より達成割合を算出している。進捗状況は概ね順調。30事業体で管路の更新・耐震化等の整備を実施し、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化を推進したことで、災害に強い水道が構築された。なお、平成28年度は簡易水道事業との統合により、耐震化されていない管路延長が増えたため、耐震化率が低い値となった。		
活動指標名	—				R2年度					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B
実績値	—	—	—	—	—	—	—					
(2)これまでの改善案の反映状況												
令和2年度の取組改善案						反映状況						
<p>・市町村水道担当課長会議や担当者との協議等の際に、引続き老朽化施設の計画的な更新、水道施設整備において耐震化等への取組を指導する。</p>						<p>①新型コロナウイルス感染症対策の関係で、市町村水道担当課長会議は資料配付にとどまったが、市町村水道担当者との協議等の際には、老朽化施設の計画的な更新、水道施設整備において耐震化等への取組み（基幹管路の新設、更新にあたっては耐震管を採用する等）を指導した。</p> <p>②水道施設整備費の予算確保に向けて国との協議を行い、また施設整備の優先順位を付け効率的に耐震化対策に向けて取り組むよう指導した。</p>						



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・簡易水道事業との統合により、耐震化されていない管路延長が増えたため、耐震化率が計画値より低い値となっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・安全な水を将来にわたって安定的に供給するため、市町村水道事業体に対し、老朽化施設の計画的な更新、耐震化等への取組を継続的に指導する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

・市町村水道担当課長会議や担当者との協議等の際に、引続き老朽化施設の計画的な更新、水道施設整備において耐震化等への取組を指導する。